

2014年2月18日 13:00-16:30

合法性が証明された木材に関する住宅事業者セミナー
東京ウィメンズプラザ

国際的な違法伐採問題と 取り組み事例の現状

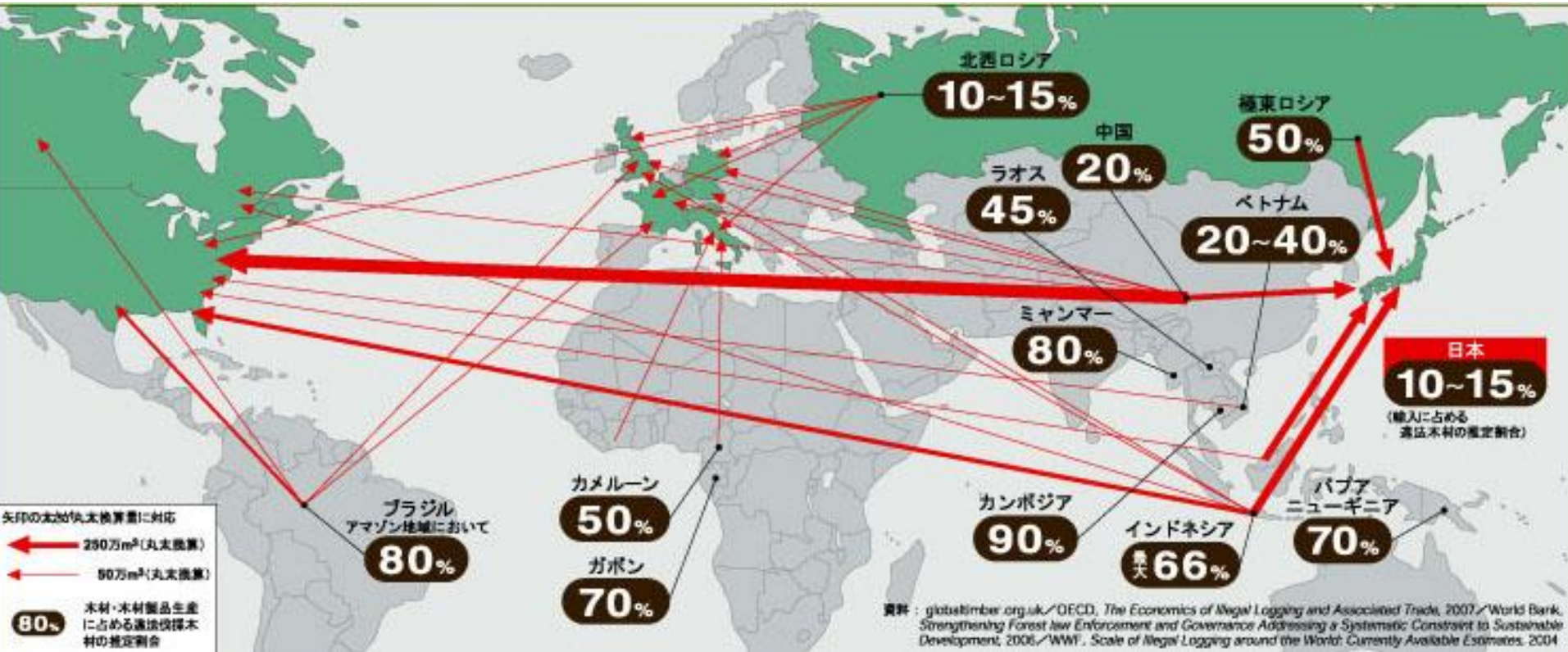
坂本 有希
フェアウッド・パートナーズ／地球・人間環境フォーラム

発表内容

- 世界の森林と違法伐採問題
- 日本の木材需要と違法伐採
- 世界の違法伐採への取り組み

違法伐採と国際貿易

主な生産国の違法伐採の推定割合とG8諸国への木材の流れ



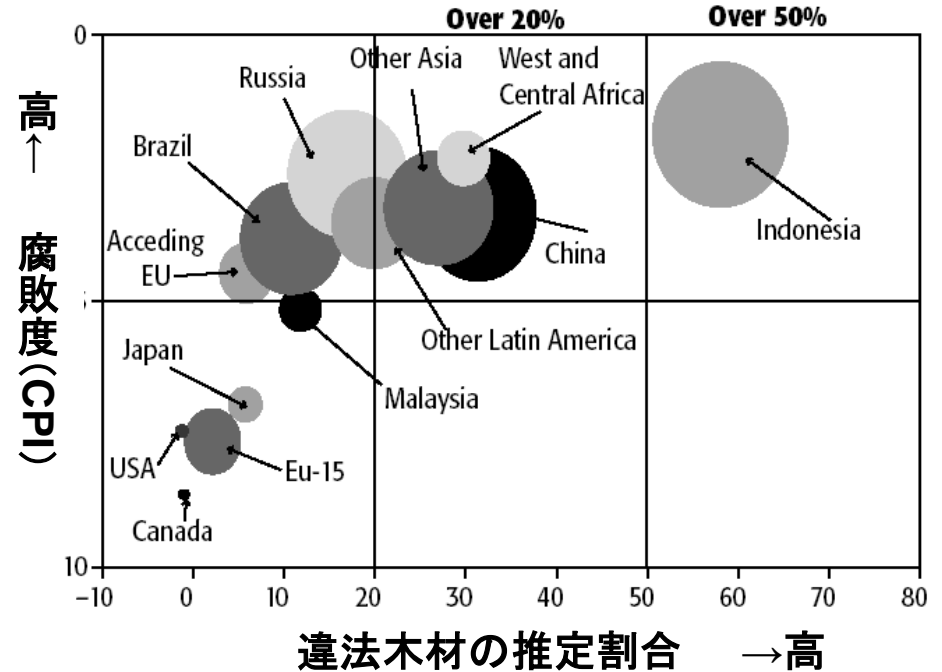
違法伐採と腐敗



腐敗認知指数マップ

http://www.transparency.org/policy_research/surveys_indices/cpi/2006

腐敗度と違法伐採の相関



Source: Seneca Creek Associates (2004).

Note: Bubble size represents the volume of suspect roundwood, including imports.

木の流れから、未来をつくる。
フェアウッド・パートナーズ

違法伐採問題



国立公園内での伐採
logging in national park

(c) Telapak



大規模森林転換
large scale forest conversion

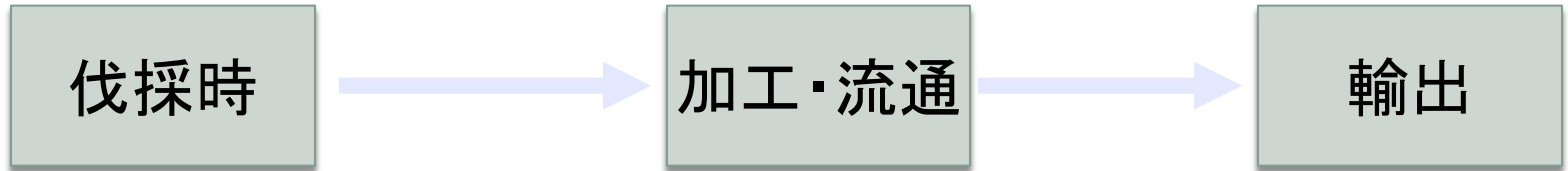


違法製材工場 illegal sawmill

川には保護区から伐採された丸太が浮かぶ(中央カリマンタン) (c) Telapak



違法伐採とは？



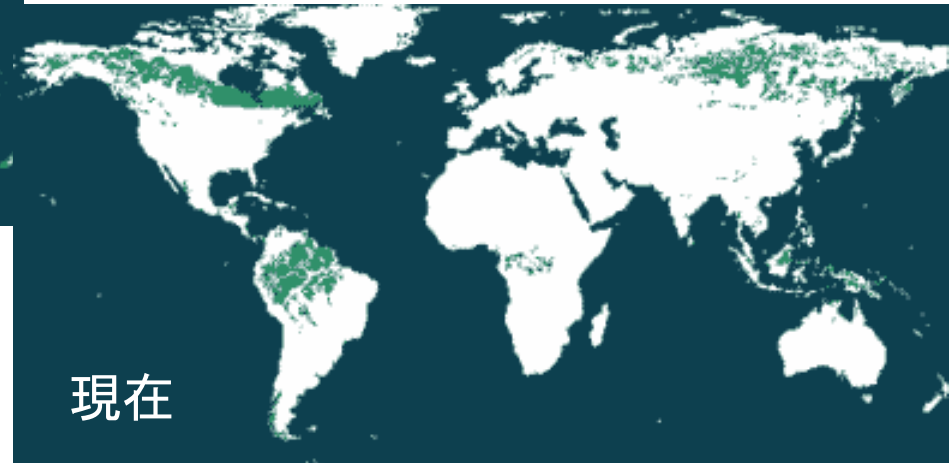
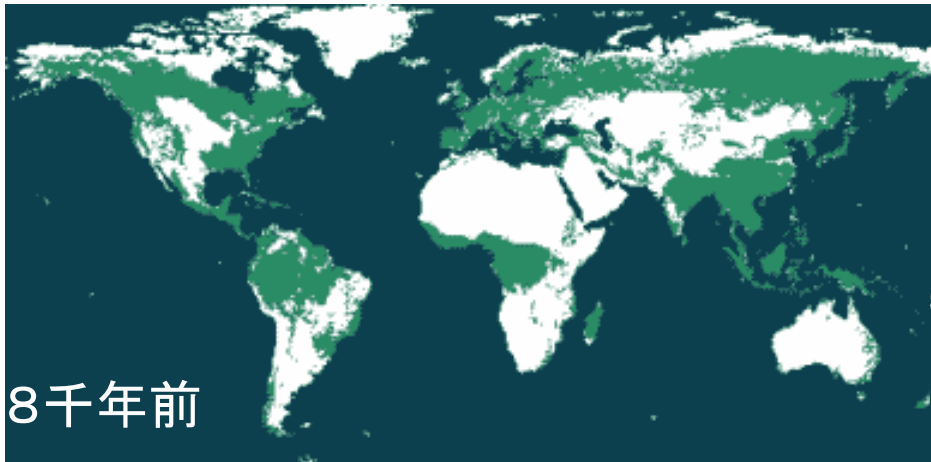
- 盗伐
- 伐採許可の偽造
- 伐採許可の不正取得
- 伐採方法が違法
- 禁止区域の伐採
- 許可量以上の伐採
- 禁止樹種の伐採

- 無許可操業
- 許可証の偽造
- 許可証の不正取得
- 許可量以上の生産・販売
- 脱税

- 輸出許可証の偽造
- 輸出許可証の不正取得
- 密輸



世界の森林の状況



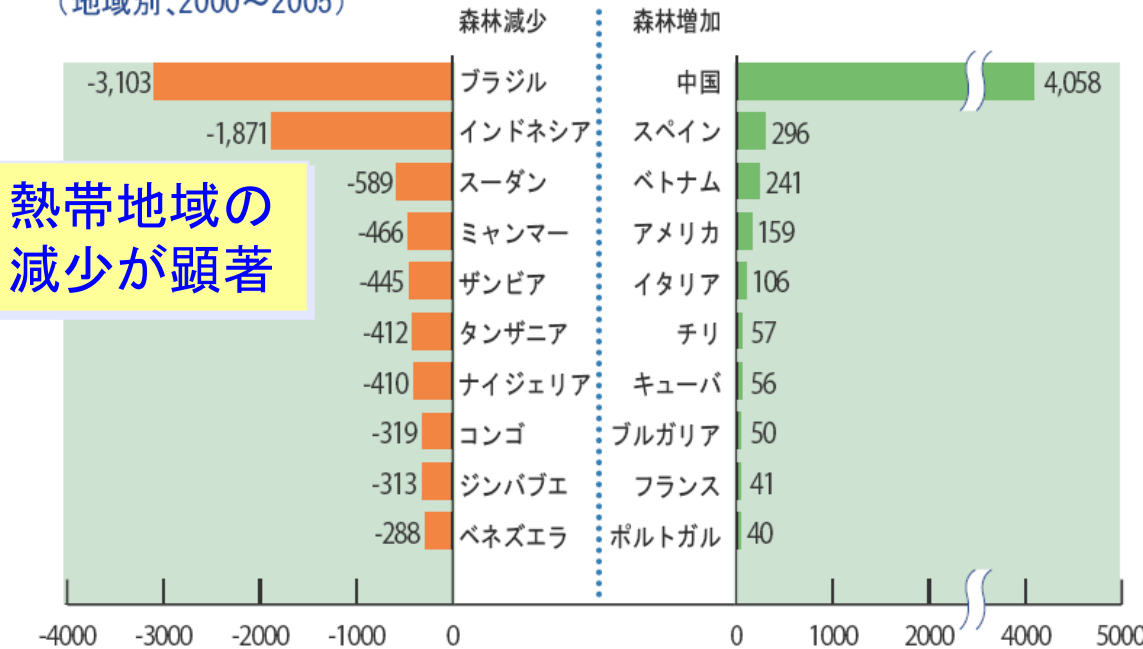
- 残された原生林は、8000年前の2割にも満たない！

世界の森林喪失は年1300万ha

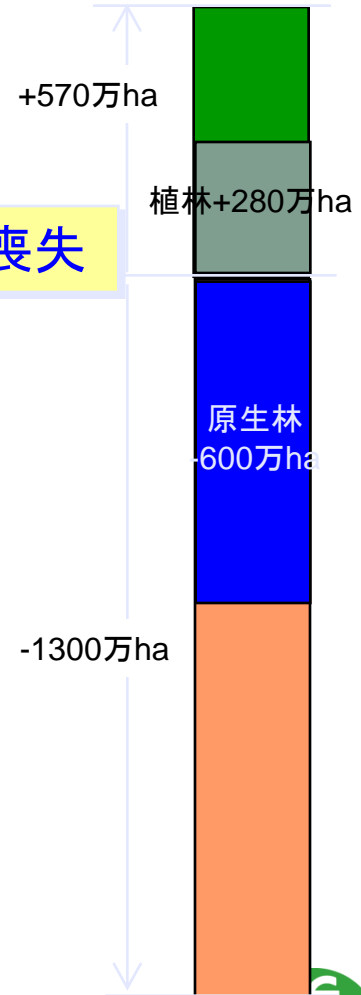
増加分との差引でも年間730万haの純減少

植林 < 原生林喪失

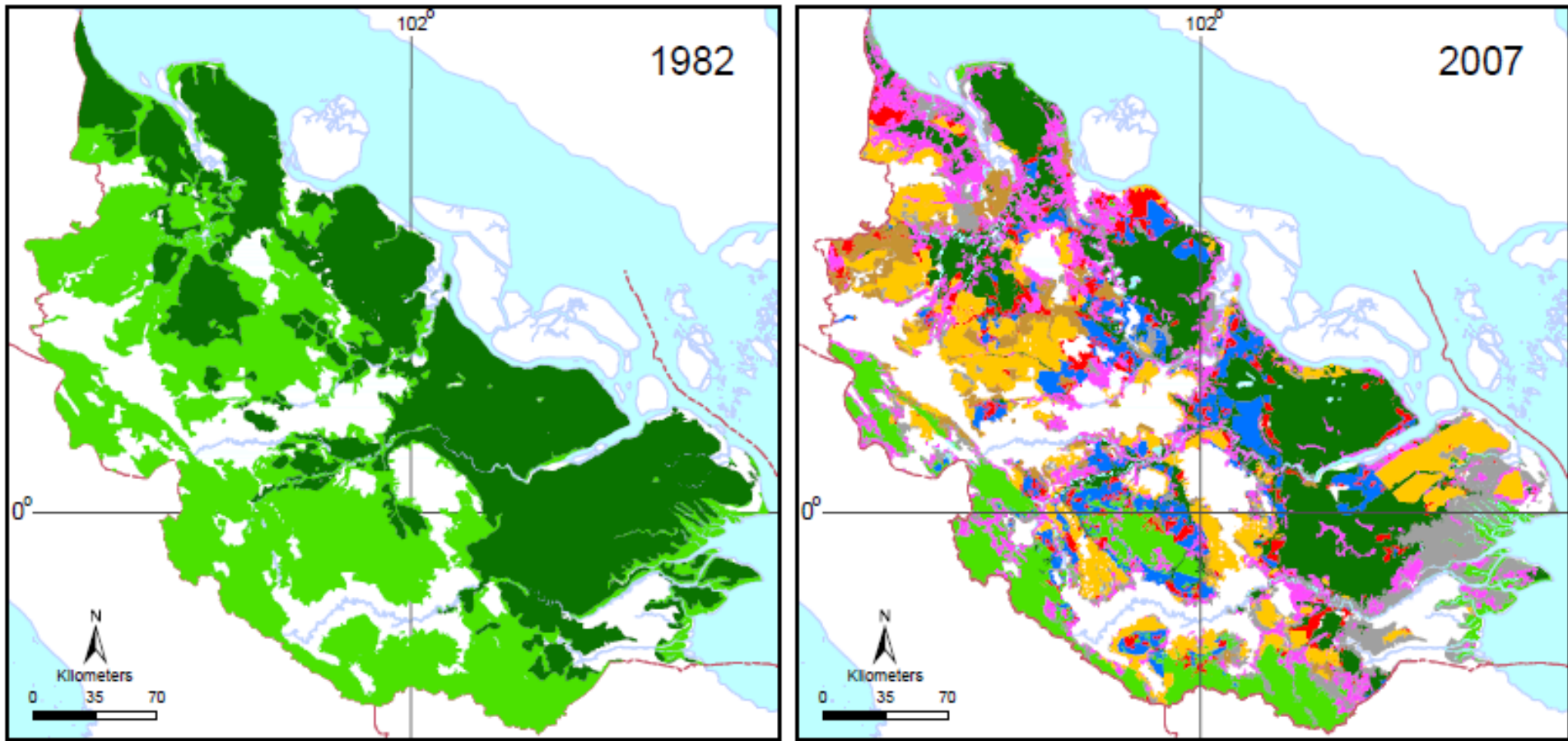
(地域別、2000~2005)



熱帯地域の減少が顕著



天然林は何に転換されたのか？



- Forest on peatland remaining
- Forest on non peatland remaining
- Waste land
- Acacia plantation
- Oil palm plantation
- Small holder oil palm plantation

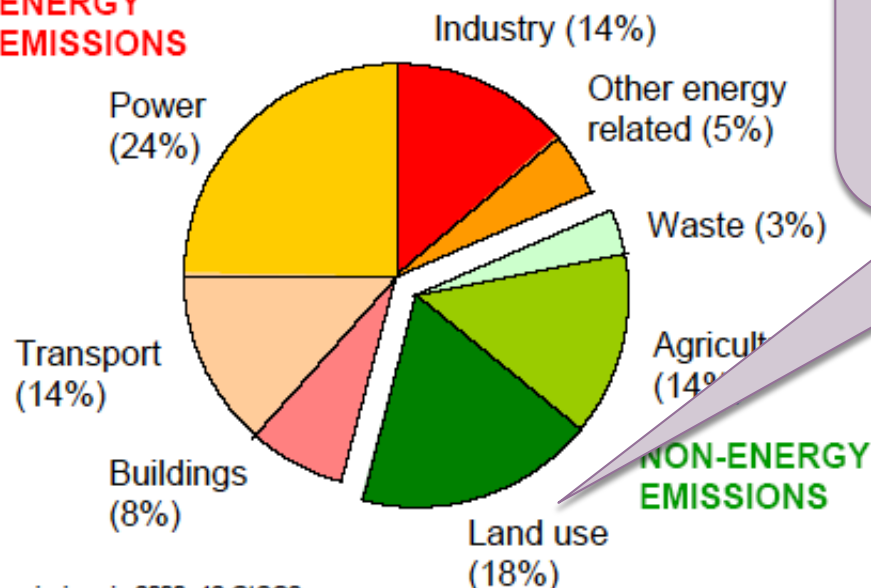
急拡大するプランテーション(植林・農園)開発 マレーシア・サラワク州



森林減少・劣化と気候変動

Figure 1 Greenhouse-gas emissions in 2000, by source

ENERGY EMISSIONS



Total emissions in 2000: 42 GtCO₂e.

Energy emissions are mostly CO₂ (some non-CO₂ in industry and other energy related).
Non-energy emissions are CO₂ (land use) and non-CO₂ (agriculture and waste).

Source: Prepared by Stern Review, from data drawn from World Resources Institute Climate Analysis Indicators Tool (CAIT) on-line database version 3.0.

「土地利用」
= 20%弱
= アメリカ一国分
の排出量より上

木の流れから、未来をつくる
フェアウッド・パートナーズ

違法でも安い木材を求める国際市場
木材・紙資源・林産品への需要の急増
破壊的開発への

買い手＝需要側のアクションの重要性

商業伐採

インフラ開発

森林火災

アクセスの容易化、増加

焼畑スタイル

地域コミュニティにとって
森林の価値の低下

地元経済
(現金収入の減少)

人口増加

貧困

買い手の存在

資金の存在

G8としての責任

汚職・腐敗構造の存在

先進国や国際ドナーから流れ込むODA



発表内容

- 世界の森林と違法伐採問題
- 日本の木材需要と違法伐採
- 世界の違法伐採への取り組み

日本の木材需要

建築・土木、家具が4割、紙が4割

太平洋周辺国からの輸入が半分を占める

- 米国、カナダ
- ロシア、
- マレーシア、インドネシア
- 豪州、NZ
- チリ
- 中国

スギ、ヒノキ、カラマツ

ベイマツ、ベイヒバ、シトカスプルス

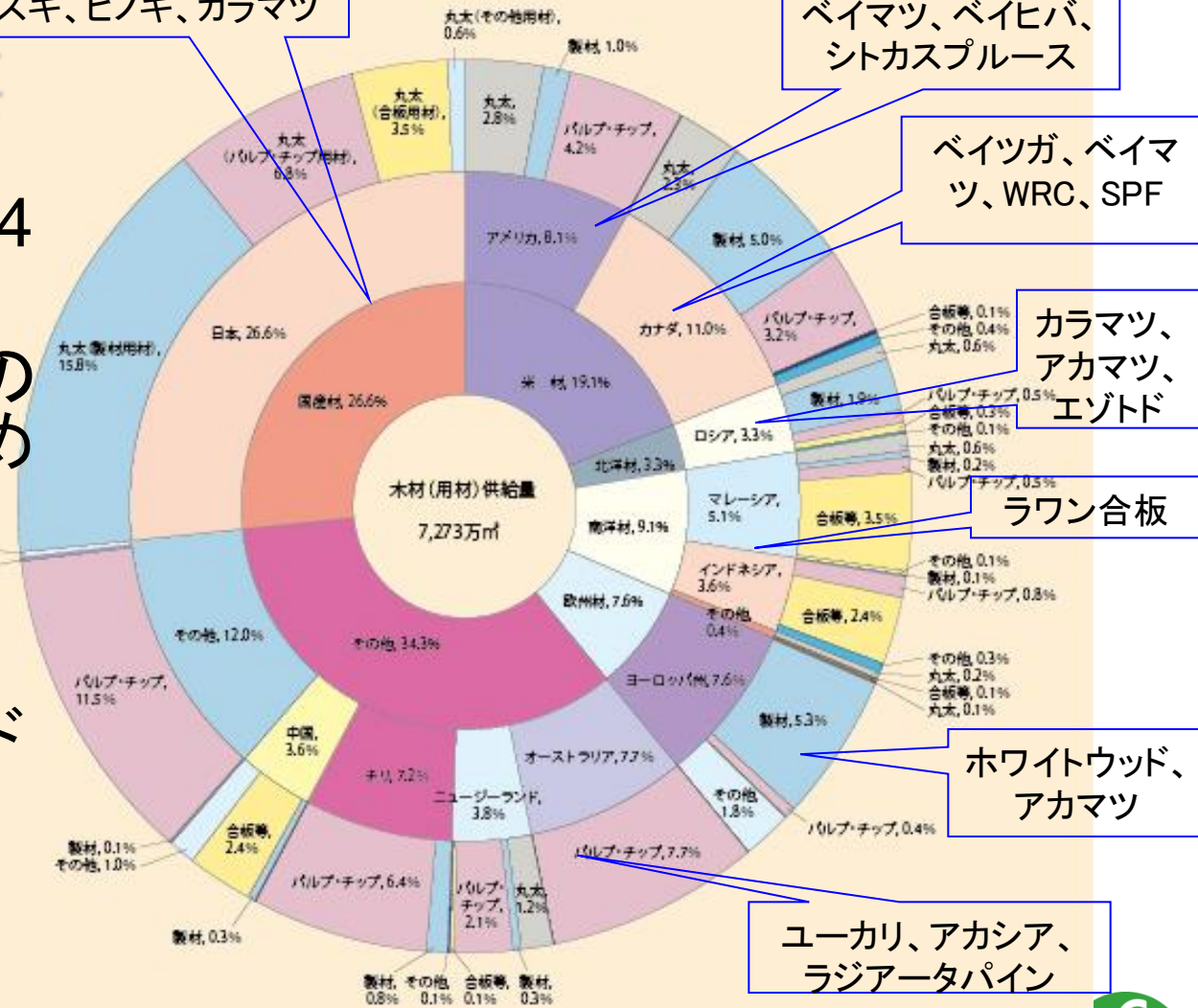
ベイツガ、ベイマツ、WRC、SPF

カラマツ、アカマツ、エゾトド

ラワン合板

ホワイトウッド、アカマツ

ユーカリ、アカシア、ラジアータパイン



2011年(平成23年)



日本の木材輸入実績(単位:億円)

素材はロシア、
マレーシアな
どから

国名	2008	2009	2010	2011	2012
世界計	11,579	8,119	9,160	9,997	9,549
中国	1,600	1,257	1,312	1,495	1,465
マレーシア	1,494	958	1,029	1,176	1,067
カナダ	1,267	801	1,025	1,047	995
インドネシア	1,216	742	687	826	811
米国	831	619	668	676	679
オーストラリア	917	583	868	650	603
チリ	613	494	513	578	566
フィリピン	280	316	419	501	565
ロシア	610	388	390	453	384
ニュージーランド	389	241	319	373	375

複合フロア材～合板基材

- 合板に使われている、メランティはレッドリストに登録されている絶滅危惧種



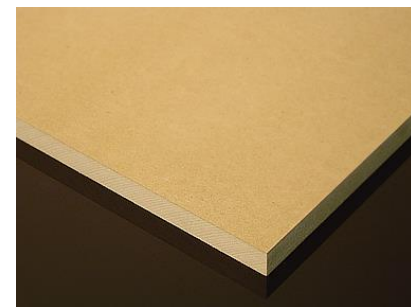
レッドリスト登録木材種

IUCN レッドリスト カテゴリー	木材種数
Extinct (絶滅)	77
Extinct in the wild (野生絶滅)	18
CR (Critically Endangered 絶滅危惧 IA 類)	976
EN (Endangered 絶滅危惧 IB 類)	1,319
VU (Vulnerable 絶滅危惧 II 類)	3,609
LR/NT (Lower Risk: near threatened 低リスク/準絶滅危惧)	752
LR/CD (Lower Risk: conservation dependent 低リスク/保全対策依存)	262
Data Deficient (データ不足)	375
小計	7,388
LR/LC (Lower Risk: least concern 低リスク:軽度懸念)	1,971
Not evaluated (未評価)	732
評価済みの木材種数	10,091
危機を受けている木材種の総数	8,753

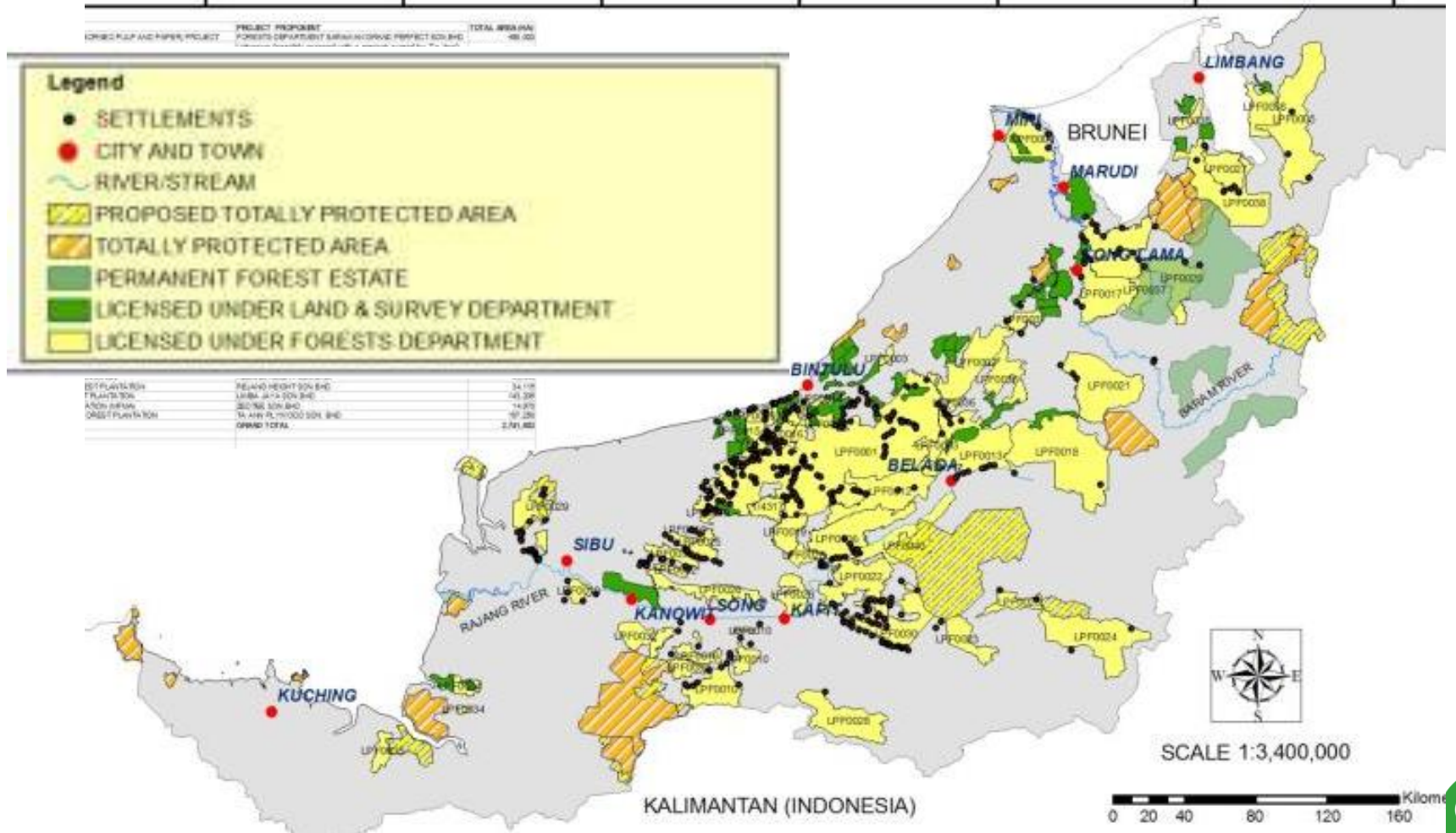
ラワン材(メランティ)も絶滅危惧種(CR)

建具・造作家具～MDF

- MDFの中には、熱帯林を丸裸にした木材が「製材残材」として使われているものも



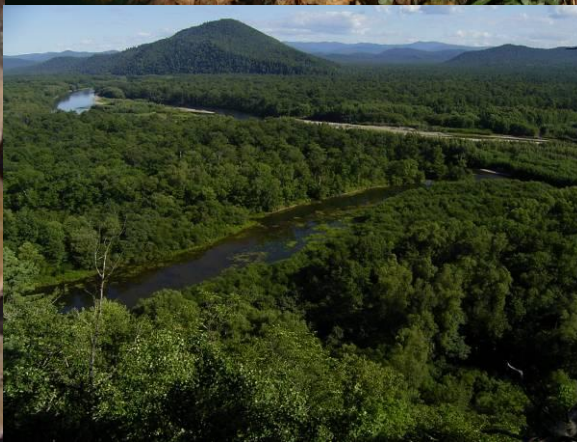
広がるプランテーションと地域住民との係争



階段、手摺、カウンター

- ナラ、タモ集成材
- 最大産地のロシア沿海地方は世界遺産クラスの天然林を違法伐採。マフィア経済が汚職腐敗を蔓延させ、トラヤヒョウを絶滅寸前に追いやっている
- 日本に来ている「中国産」ナラ・タモ材は、本当に中国産？





中露国境にて、ロシアから大量に輸入されるナラ、タモ材

グローバル経済の急拡大

- モノの流れが見えなくなっているなか、あなたの使う木材が、どこかで誰かを苦しめていたり、森や自然を壊したり、していないと断言できますか？

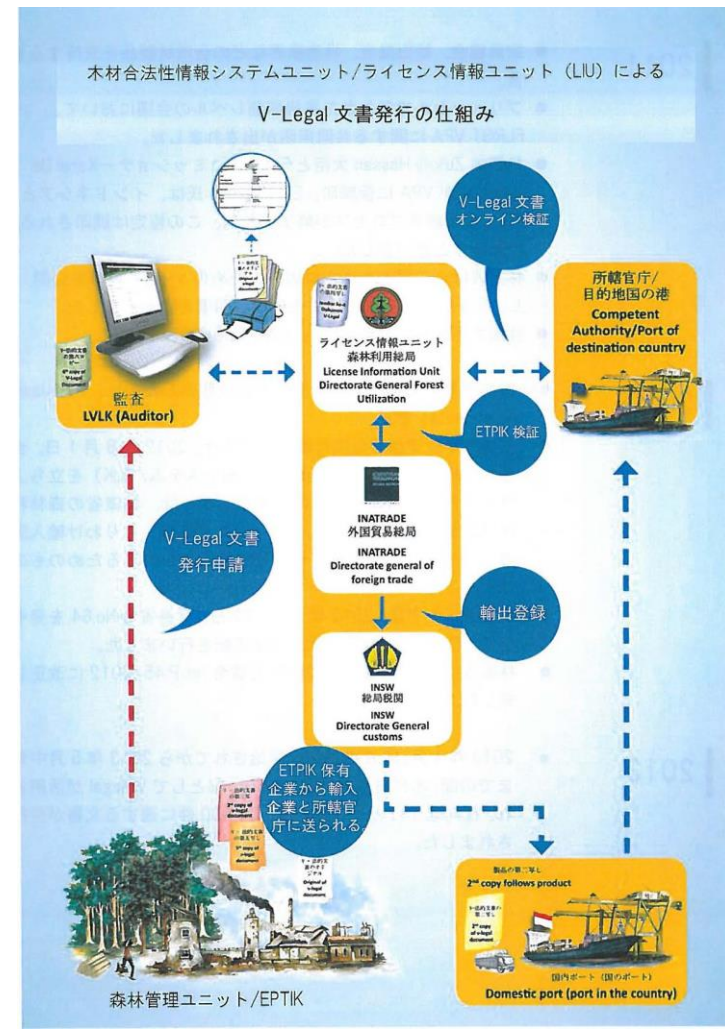


発表内容

- 世界の森林と違法伐採問題
- 日本の木材需要と違法伐採
- 世界の違法伐採への取り組み

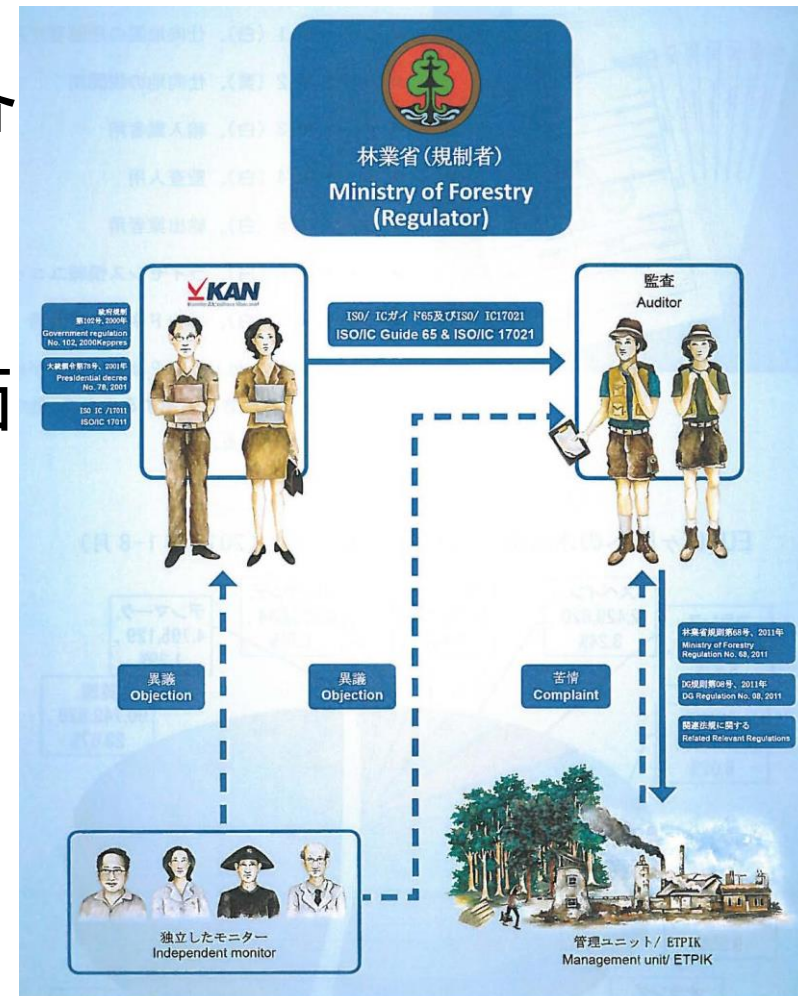
生産国の取り組み：インドネシアの場合

- インドネシア木材合法性保証システムをEU向けに開発
- NGOなどを含む幅広いステークホルダーの参加で決めた合法性基準に沿って認証。
- 日本が支援をした木材バーコードシステムなども活用
- 日本の企業なども使える



生産国の取り組み：インドネシアの場合

- 3年間有効の合法性認証を各木材生産事業者、取引・加工業者、輸出業者が取得。
- 独立した監視と定期的な評価の実施（市民団体より監視を含めた4つの監視・評価システム）



世界の違法伐採対策＝民間の規制

- 米国 レーシー法改訂(2008年)
- ヨーロッパ
EU木材法(2010年成立、2013年3月施行)
- オーストラリア
違法伐採禁止法(2014年11月完全施行)

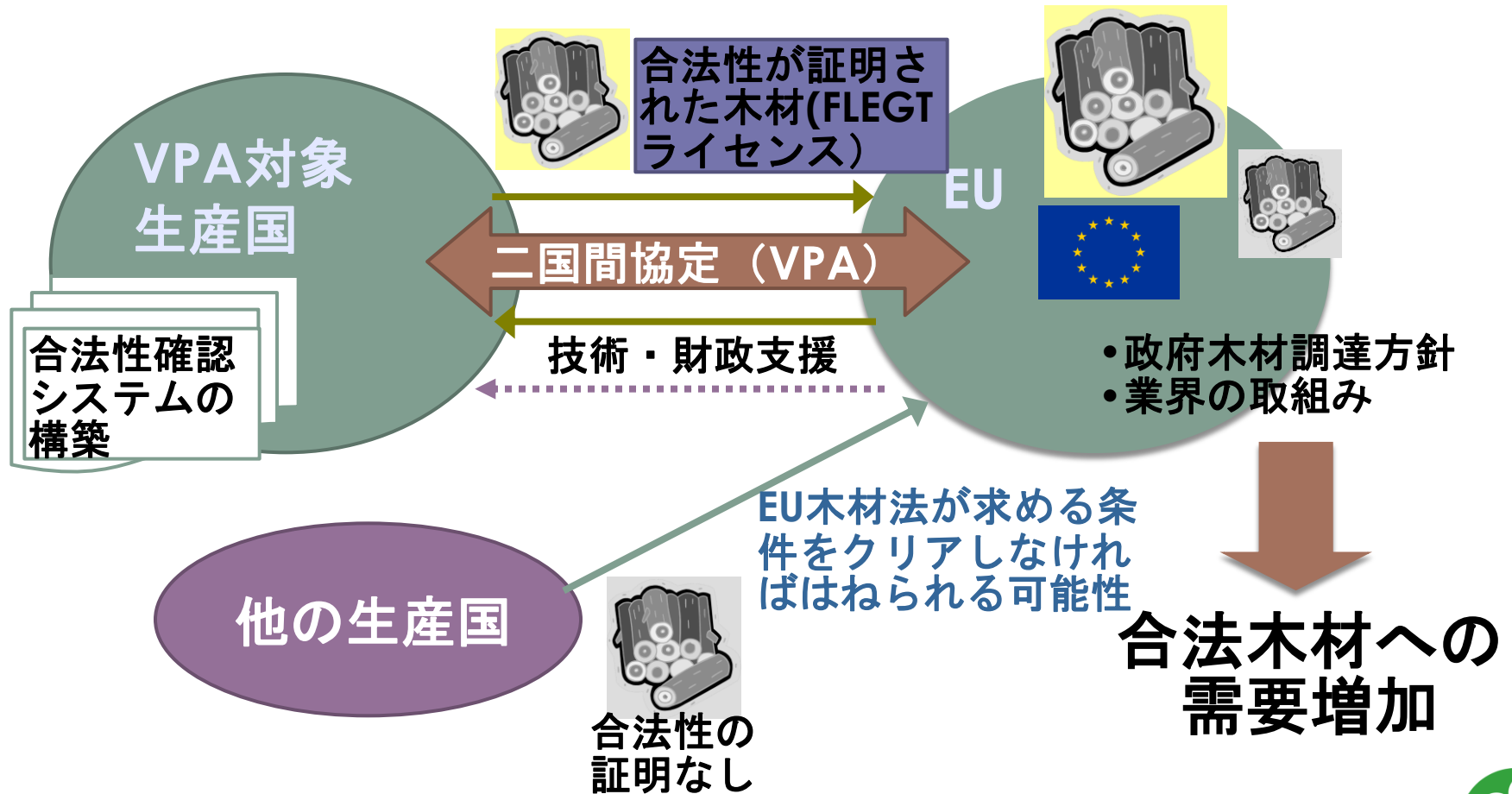
民間の規制の共通点

- ◆ 違法材を水際で排除
- ◆ 事業者にデュー・デリジエンス(DD)の義務
- ◆ トレーサビリティの確保
- ◆ 違反者に罰則あり

EU-FLEGT行動計画

- Forest Law Enforcement , Governance and Trade = 森林破壊・違法伐採問題 = 法整備・法取り締まり・汚職・ガバナンスの問題であるという認識から、
途上国支援型アプローチ（生産国のガバナンス改善 & 能力向上）
- VPA: Voluntary Partnership Agreement: ステークホルダー・プロセスを通じた法整備・キャパシビルディングで信頼できる「合法性」を目指す
- 政府木材調達方針
- 貿易措置: 違法材の輸入の禁止
- 業界の取り組み支援

VPAと生産国支援



EU木材法 民間業者に課される義務

1. 違法木材をEU市場に持ち込まない
2. 最初にEU市場に木材製品を持ち込む業者はその製品が合法木材であることを確認する「**デュー・デリジェンス**」調査を行う
3. **トレーサビリティ**の確保（EU市場において木材製品を購入した業者はサプライヤーと顧客の情報を記録）

Regulation (EU) No 995/2010 第4条

「デュー・デリジェンス」

- 自らの取引する木材製品が違法材でないことを確実にするために、あらゆる方法を駆使して調査確認をする義務
- 3つのステップ
 - (1)情報へのアクセス
 - (2)リスク評価
 - (3)特定されたリスクの軽減



Regulation (EU) No 995/2010 第6条(a)

欧米豪のアプローチ

なぜ、消費国側の事業者にサプライチェーン管理、デュー・デリジェンスの義務を課すのか？

- SCMに取り組む事業者を支援することにより、違法伐採問題の解決に取り組む
- 「森林を含む自然資源の違法な搾取は、汚職と組織的犯罪に密接に関連している。豊かな森林を持つ国の中には、違法伐採からの利益が汚職をまもり、法規制、民主的なガバナンスの原則、さらには人権尊重をむしばんでいる国が存在する」



原材料調達を持続可能性

自社が考える持続可能性にあった望ましいものを示す（調達方針等で）

段階的引き上げに向けた支援

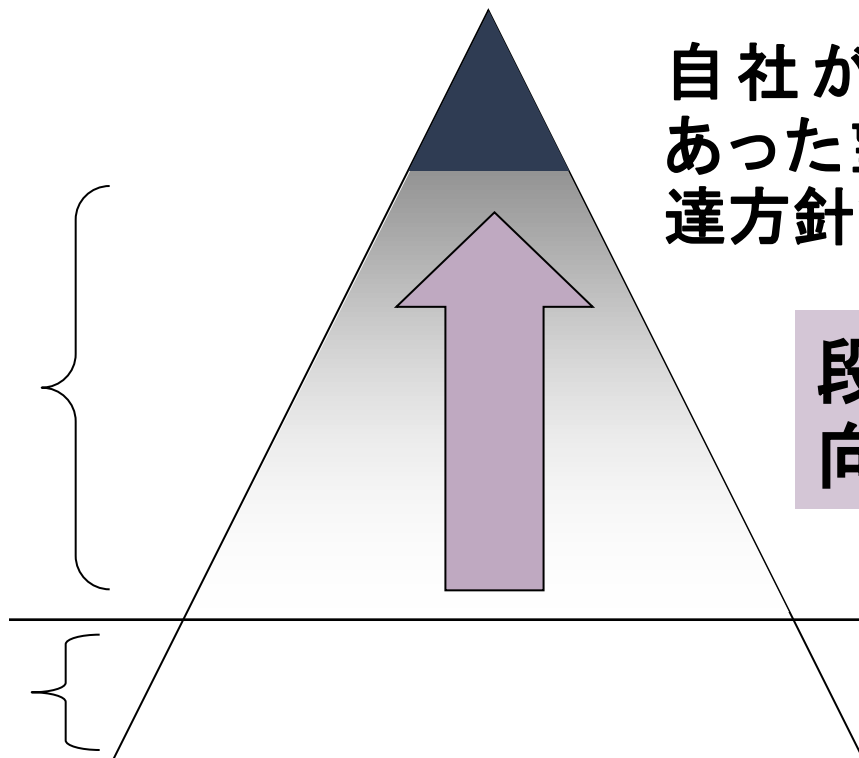
ミニマムライン

違法材（合法木材）、保護価値の高い生態系の破壊、違法漁業からの魚介類、レッドリスト記載種など

段階的
引き上げ

買わない

何らかのチェック、モニタリング



責任ある原材料調達に取り組む手法

グループとして

- バイヤーズ・グループの結成など業界における協働
サプライヤーへの要請
サプライヤーへの支援
グループとしてのコミットメント
- サプライチェーンをまたいだ円卓会議
川上から川下まで
地域のステークホルダー
NGOなどのステークホルダー

ガイドラインに基づき業界団体認定の取り組み

責任ある原材料調達に取り組む手法

個別企業では、

- 調達方針の策定・実施
 - 生産現場で起こりうる問題を知り、評価する(DD)
 - 目標設定とコミットメント
 - サプライヤー評価
 - サプライヤー支援
 - 情報公開
 - パートナーシップ

ガイドラインの
個別企業による
取り組み

調達方針の例

- B&Q(木材)
- マークス&スペンサー(魚、綿、木材)
- キャドバリー・シュウェプス(カカオ、ナッツ類など)
- センズベリー(魚介類、パーム油など)
- ユニリーバ(パーム油、トマト、魚介類など)
- ウォルマート(魚介類)
- スターバックス(コーヒー豆)
- リコー、キャングループ、富士ゼロックス、王子製紙、アスクル、三菱製紙、日本製紙(紙製品など)
- 積水ハウス、ミサワホーム(木材・木材製品)など

フェアウッドとは？

伐採地の森林環境や地域社会に配慮した
木材・木材製品

【リペア・リユース・リデュース】修理・再生した木製品

【リサイクル】古材や廃材を再使用した木製品

【合法木材】最低限、違法伐採でない合法的な木材

【国産材、地域材】近くの森林から生産された木材

【コミュニティ材、フェアトレード】地域住民が自ら適切に森林管理している木材

【森林認証材】信頼できる第三者機関の森林認証を受けた木材

フェアウッド・パートナーズ：協働

- 積水ハウス：調達方針の策定と実施への支援
- 東急ホームズ：調達方針の策定
- ワイス・ワイス：調達方針等の策定と製品の開発
- テラス：インドネシア・コミュニティ材を活用した製品の開発
- 諸塚村とのどんぐり材活用プロジェクト
- 乃村工藝社：エコプロダクツ展への出展と「エコ&デザインブース大賞」受賞（2010～2011）

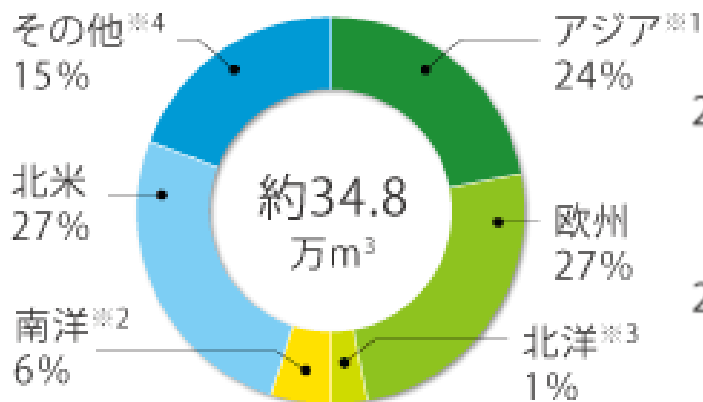
積水ハウス

1. 違法伐採の可能性が低い地域から産出された木材
2. 貴重な生態系が形成されている地域以外から産出された木材
3. 地域の生態系を大きく破壊する、天然林の大伐採が行われている地域以外から産出された木材
4. 絶滅が危惧されている樹種以外の木材
5. 消費地との距離がより近い地域から産出された木材
6. 木材に関する紛争や対立がある地域以外から産出された木材
7. 森林の回復速度を超えない計画的な伐採が行われている地域から産出された木材
8. 国産木材
9. 自然生態系の保全や創出につながるような方法により植林された木材
10. 木廃材を原料とした木質建材

積水ハウス：実績にもとづき改善を重ねる

□ 2012年に調達方針を改定

- 調達指針⑤「生産・加工・輸送工程におけるCO₂排出削減に配慮した木材」を調達
- 調達指針⑥「森林伐採に関する地域住民等との対立や不当な労働慣行を排除し、地域社会の安定に寄与する木材



※1 アジア：国産材含む

※2 南洋：インドネシア、マレーシアなど

※3 北洋：ロシアなど

※4 その他：南米、アフリカ、木廃材を含む



積水ハウスWEBサイトより
http://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/2013/theme/biodiversity/fair-wood_02.html

ご清聴ありがとうございました

フェアウッド・パートナーズ

<http://www.fairwood.jp>

地球・人間環境フォーラム

<http://www.gef.or.jp>

国際環境NGO FoE Japan

<http://www.foejapan.org>